

公共事業再評価調書（5回目再評価）

主管課：河川課

1 事業概要 (整備目的)	事業名：国場川河川改修事業		前再評価年度：平成30年度		
	事業種別：広域河川改修事業	事業主体：沖縄県	(S47~R8)		
	事業箇所：那覇市、南風原町	根拠法令：河川法	事業期間：S47～R13		
	総事業費(百万円)：39,300	費用内訳：補助 9/10	事業量(m) 8,250		
1-2 前再評価以降の計画変更	計画降雨に対する治水安全度の向上を図り、浸水被害の解消を目指す。また、環境に配慮した多自然川づくりを目指す。				
2 再評価該当項目	<input checked="" type="checkbox"/> ① 再評価後一定期間（5年）を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業の中止 <input type="checkbox"/> ③ その他（ ）				
3 再評価に至った主な要因 (具体的理由)	<input checked="" type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期間 <input type="checkbox"/> ⑨ その他（ ） ・河川事業は下流から整備する必要があり長期間を要するため。 ・筆界未確定や補償費単価への不満により用地取得が難航している。				
4 事業の進捗状況 (R5.3 時点)	項目	事業費(百万円)	整備(km)	用地取得(千㎡)	
	計画	39,300	8.25	136.7	
	実施済	36,259	7.29	133.2	
	率	92%	88%	97%	
4-2 前再評価以降の主な進捗	河口から那覇大橋までの河床掘削を完了し那覇大橋上流で実施中。また、兼平(かんだら)橋から平原(ひらばる)橋間について整備が完了しており、平原橋上流の護岸整備を実施中。				
5 事業効果の評価指標 (検討年 整備期間+50年) (基準年 R5) (単位: 百万円)	① 一般資産	379,616	① 建設費	38,749	
	② 農作物	34	② 維持費	14,302	
	③ 公共土木施設	281,876			
	④ 間接被害額	83,458			
	便益 小計	744,984			
	基準年換算 (B')	654,916			
	⑤ 残存価値	305	総費用	53,051	
	総便益(B)	655,221	基準年換算 (C)	155,620	
	費用便益比 (B/C) = 655,221 / 155,620 = 4.2				
6 事業を巡る状況の変化 (前再評価以降)	① 社会・経済：近年、全国的に降雨による水害が激甚化しており、本県においても河川整備を着実に推進する必要がある。				
	② 地元・自治体：南風原町宮平地区から河川整備に関する要請書や市町村行政懇談会にて地元からの要望がある。				
	③ 利害関係者：用地取得が難航している。				
7 事業の必要性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 事業の進捗により浸水被害は低減されてきているが、未整備区間においては依然として氾濫の危険性があるため、早期の整備が必要である。				
	② 事業の効率性(代替案等の可能性やコスト縮減)： 用地取得率 97%、整備率 88%と事業は進捗しており、現計画を推進することが、効率的である。				
	③ 事業効果の発現状況： 計画延長8.25kmのうち、平原橋上流付近までの約7.3kmの整備を完了しており、計画降雨による出水に対する同区間の浸水被害が低減されている。				
8 今後の対応・見直し	① 事業計画等：令和13年度までに整備区間最上流部までの完成を目指す。				
	② 対住民関係：筆界特定制度の活用や用地交渉を重ねて用地取得に取り組む。				
	③ 執行体制等：現在の組織体制で特に問題なし。				
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止				
10 その他 (前再評価での主な意見等)	・河川整備において、日常的に地域住民が親しめる公園のような空間があるとよい。				

* 1事業概要 の上段()は前再評価時点の計画